



災害への備え「助けられる人から助ける人へ」

○ 地域で防災・減災に取り組みましょう

災害から身を守るための第一歩は、普段からの心構えといざというときのための準備です。みなさんも地域や団体、市が行っている防災訓練や研修・講座に積極的に参加しましょう。



防災ひとくちメモ⑬

災害時の「自助」・「共助」・「公助」

「自助」とは、家庭で日ごろから災害に備えたり、災害時には早期に避難するなど自分で守ること。
「共助」とは、近隣が協力して避難したり、地域コミュニティで共に助け合うこと。
「公助」とは、市町村や消防・警察による救助活動や支援物資の提供などの公的な支援のこと。

▶ 防災訓練への参加

災害発生時の避難経路の確認や、避難所開設・運営等について学ぶことができる防災訓練が、各地域において行われています。

※訓練の企画や当日の運営等の支援を行う「出張訓練支援」を実施しています。訓練の実施希望がある場合は、お気軽にお問い合わせください。



千歳市総合防災訓練

▶ 防災講座への参加

災害への備えについて学び、防災知識を普及する人材を養成する「地域防災リーダー養成講座」をはじめ、地域の災害特性や防災備蓄品等について学ぶ防災学習会が、各地域で行われています。



★お問い合わせ先

千歳市 総務部 危機管理課 電話 0123-24-0144
防災・危機対策係 FAX 0123-22-8852

千歳市防災学習交流センター「そなえーる」

災害を学び・体験し・備えることができる施設です。地震の疑似体験や火災発生時の煙避難体験など防災・減災について、体験を通して学ぶことができます。

★お問い合わせ先

住 所 千歳市北信濃631番地の11 F A X 0123-26-9992
電話番号 0123-26-9991 E-Mail sonaeru@city.chitose.lg.jp
開館時間 午前10時00分から午後5時00分
(貸館の予約がある場合は午後9時00分まで対応可能です)
休 館 日 月曜日・毎月の最終火曜日・年末年始
(月曜日及び毎月の最終火曜日が祝日の場合はその翌日が休館日となります)



防災訓練や防災講座などに積極的に参加し、自分の身は自分で守る「自助」から、地域の安全を確保する「共助」に取り組み、災害による被害を減らしましょう。



○ 地域で防災・減災に取り組みましょう

災害が発生したとき、交通網の寸断、同時多発火災などにより、消防や警察などの防災機関が十分に対応できない可能性があります。そんなとき力を発揮するのが、「地域ぐるみの協力体制」です。実際に阪神・淡路大震災時には、地域住民が自発的に救出・救助活動をして被害の拡大を防ぎ、その後の復興にも大きな力を発揮しました。また、同震災や東日本大震災のように災害発生後の避難生活が長引く場合にも、地域住民が助け合って、さまざまな困難を乗り越えなければなりません。

自主防災組織とは、町内会などが中心となって地域の人々が自発的に防災活動を行う組織です。「自分たちのまちは自分たちで守る」という心構えで積極的に自主防災組織に参加し、災害に強いまちづくりを進め、「地域防災・減災力」を向上させましょう。

平常時

地域内の安全点検

防災知識の普及・啓発

防災訓練

●災害に備えるための活動の日ごろから行います。



災害時

初期消火

避難誘導

救出・救助

情報の収集・伝達

避難所の開設・運営

●災害発生時に協力し、被害の拡大を防ぐために行動します。



指定避難所の開設基準

大規模災害が発生した際、スムーズに指定避難所の開設ができるように、開設基準を定めています。次の場合、施設管理者、自主防災組織や町内会役員の方は自主的に参集し、指定避難所の開設に向けた準備をお願いします。

●震度6弱以上の地震が発生した場合 ●災害対策本部長(市長)が指示した場合

○ 避難行動要支援者を支援しましょう

高齢者や障がいのある方、妊娠されている方などで、災害が発生した時に手助けが必要な方を「避難行動要支援者」といいます。これらの方を災害から守るために、日ごろから地域で協力し、支援していきましょう。

日頃の備え

●地域のコミュニケーション

寝たきりの高齢者や障がいのある方への援護など



災害発生時には

●避難の支援

避難準備の際は、優先的に手助けをする

